商船三井とのＣＣＳバリューチェーン構築に向けた
海上輸送等の検討に関する覚書締結

２０２２年１２月２３日
関西電力株式会社

関西電力株式会社（本店：大阪府大阪市、代表執行役社長：森望、以下「関西電力」）は本日、株式会社商船三井（本社：東京都港区、代表取締役社長：橋本剛、以下「商船三井」）と、ＣＣＳ（Carbon dioxide Capture and Storage、CO_2の回収貯留）※バリューチェーン構築に向けた海上輸送等に関する調査の覚書を締結しました。

ＣＣＳは低・脱炭素社会を実現する有効な手段の一つとして期待されています。当覚書に基づき、関西電力は商船三井と、関西電力が運営する火力発電所から排出されるCO_2を対象に構築する「分離・回収、輸送、圧入・貯留からなるＣＣＳバリューチェーン」について協業し、両社で液化CO_2の貯留候補地への海上輸送等の調査・検討をしていきます。

関西電力は、「ゼロカーボンロードマップ」において「事業活動に伴うCO_2排出を２０５０年までに全体としてゼロとする」道筋を定めています。関西電力グループは、当検討を通じた液化CO_2輸送事業を含めたＣＣＳバリューチェーン構築を進め、お客さまや社会のゼロカーボン化に貢献していきます。

※排ガスからCO_2を回収し、地中等に貯留する技術。

以　上